

全国フードバンク推進協議会の設立

日本では品質そのものにも問題がないにもかかわらず、様々な理由により廃棄されている食品が年間500～800万トンとされています。一方、生活保護受給者は200万人を超え、「見えない貧困」といわれる貧困層は生活保護受給者の数倍存在するとされ、最近では特に子供の貧困問題にも注目が集まっています。それらの社会的課題への対策として、政府は「NO-FOODLOSS PROJECT」や「生活困窮者自立支援法」の施行、また子供の貧困対策として「子供の未来応援プロジェクト」を推進しています。そのような中、近年日本国内でも多くのフードバンク団体が発足し、「フードバンク」への社会的関心は高まっているものの、運営や法制度等の課題が多く、社会的課題の解決手段としての役割を十分に果たすことができていません。フードバンク活動が日本において社会的課題の解決手段となるためには、全国各地のフードバンク団体の組織基盤の強化や、欧米の様にフードバンクを推進するための法整備等を実施していく必要があります。全国フードバンク推進協議会は、各地のフードバンク団体と共に、「食品ロス削減と貧困問題の解決」を目的に設立されました。

講師・パネリストプロフィール

湯浅 誠氏

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK第一ラジオ「マイあさラジオ」、文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」レギュラーコメンテーター、「ラジオフォーラム」レギュラーパーソナリティー、朝日新聞紙面審議委員および編集権に関する審議会委員、日本弁護士連合会市民会議委員。

大島 次郎氏

農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室課長補佐

松川 伸治氏

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付参事官補佐(子供の貧困対策担当)

鈴木 和樹氏

1981年5月13日生まれ。幼少期に生活保護受給世帯で育つ。社会に助けられた自分だからこそ、困っている人の役に立つ仕事をしたいと考え、2007年より困窮者支援活動に取り組む。現在、NPO法人フードバンクふじのくに事務局次長、NPO法人POPOL事務局次長、全国フードバンク推進協議会設立準備会世話人。

米山 けい子

2008年10月「フードバンク山梨」を設立、2009年9月にNPO法人格を取得。行政との協働で「食のセーフティネット事業」を展開中。2012年には就労準備支援、2013年相談支援事業を開始。2015年8月にフードバンクこども支援プロジェクトを実施。

会場アクセス

▶「東京駅」から徒歩10分 ▶「八丁堀駅」から徒歩2分
JR京葉線・海浜幕張行「東京駅」～「八丁堀駅」(所要時間3分)
※会場近隣に、「アットビジネスセンター東京駅」という類似した名称の施設がございますので、お間違えのないようお願いをさせていただきます。



参加ご希望の方は、Faxまたは同内容を電話やメール・Facebookにてお申し込みください。

TEL / FAX 055-282-8798

E-mail info@fbyama.com

参加申込書		申込締め切り 2015年11月12日(木)	
氏名		同行者人数	
電話番号		メールアドレス	

Facebook <http://www.facebook.com/foodbank.yamanashi>